

か い
『花彙』 小野蘭山 島田充房^{みつふさ} 共著 宝暦 13 年 (1763)

草編4巻、木編4巻からなる植物図集。草編2巻を島田充房が、残りの絵を小野蘭山が描き解説している。精緻な植物画はとて美しく、簡潔な解説文と相まって『花彙』は優れた植物図鑑として高い評価を得た。白と黒を鮮やかに使い分ける技法は、江戸時代末期に発行された飯沼慾斎の『草木図説』などにもその影響が見られる。フランス人のサヴァチエ(1831~1891)は『花彙』を、フランス語に訳し『Livers Kwawi』としてパリで出版した。



ウコン(鬱金・ウコン)
ショウガ科 芳香性健胃



ベニバナ(紅花・コウカ)
キク科 婦人病



ハクモクレン(木蓮・モクレン)
モクレン科 鼻炎、頭痛



アマドコロ(菱薺・イズイ)
ユリ科 強壯、強精



アミガサユリ(貝母・パイモ)
ユリ科 鎮咳、去痰



フジバカマ(蘭草・ランソウ)
キク科 浴湯料、利尿